

⑤在リヨン領事事務所



小林領事、平野コーディネータと。富岡市がローヌ・アルプ州の市と姉妹都市の調印をする前日になり、超多忙な中、ご対応いただきました。

⑥リヨン・アクセレラ



アクセレラの国際担当ソフィー・マゼさんと。

⑦リヨン・ピオポール



ピオポールのディレクター、ケビン・ロマーニさん、オリバー・シムコピアさんと。

⑧ローヌ・アルプ州商工会議



国際部長のフロロン・ベルテストさん、アヤ・キタハマさんと。

⑨SPL リヨン コンフュランス再開発地区／ ⑩リヨン東芝スマートシティ



東芝のジェシカ・ボアロさんが丁寧に説明してくれました

再開発コンフュランス地区のおしゃれな商業モール



東芝がリヨン市で展開するスマートシティの拠点となる「HIKARI」ビル。隈研吾氏の設計です。NEDOと連携したエネルギーの見える化などの実証実験が行われています。



街を通るとき、意識して見てくださいと、言われたリヨンの「だまし絵」です。平たんな壁面にリヨンの歴史上の人物が描かれており、思わず横に回って確認したほど、だまされました！！

アクセレラは、2005年にフランス政府主導で設立された環境や化学の関連産業からなる「クラスター」です。これまで225の案件で予算7億ユーロが投じられました。例えばリヨンの要請で、ケミカルバレー（化学工業地帯）で発生している排熱の有効活用というテーマで各企業が協力し都市暖房や温水プールに利用されました。国の補助が半分あるそうで、成果は中小企業などが技術のイノベーションを得ることということです。

リヨン・ピオポールは、パスツールの弟子メリューがリヨンに開いた研究所の流れを汲む3つの世界的な免疫・ワクチンの医薬品企業（ピオメリュー、メリアル、サノフィ・パスツール）などを中心とした医療クラスターです。神戸医療産業都市の今西理事からの親書を手渡し、神戸での再生医療の取り組みや概要について紹介し、互いの連携について提案しました。iPS細胞については、大変興味を示され、クラスターのメンバーが2016年に訪日の際、神戸を含めて訪問できないか検討してみるということでした。昨年の市長のトップセールスが連携につながっていくことを期待します。

ローヌ・アルプ州商工会議所では、スケジュール表をいただき、世界の細かな訪問日程を伺いました。様々な団体で訪日もするのでぜひその機会をとらえて、来神に結び付け、セミナーなどが開催できるようにとアドバイスを受けました。

⑪マルセイユ市表敬訪問



マルセイユ市役所においてロアタ副市長に久元市長の親書を手渡しました。ロアタ副市長からは、協力関係もあるが、まずは、人間としての友好関係を築きたいという熱いメッセージをいただきました。夕食会では仏日関係の方々や、コルディア副市長とも意見交換を行いました。



マルセイユ市について

- 人口 86万人(2013年現在)
- 平均気温 9℃(1月)/26℃(7月)
- 主要産業 石油化学、鉄鋼、食品加工、航空関連、微小電子機器、機械・ロボット、海洋工学、紡織、健康関連産業
- 神戸市との姉妹都市提携・1961年7月2日

⑫マルセイユ市港湾局／⑬ユーロ・メディテラネ都市開発公社 ⑭テラス・デュ・ポート／⑮MuCEM(地中海文明博物館)



ユーロ・メディテラネ都市開発公社において、再開発の説明を受けました。民間と一緒に開発する場合も、「公」の権限を必ず担保しておくことが重要と何度もアドバイスされました。



市の神戸の担当レイさん、開発公社のソレンティノさん



二つの河にはさまれた地区において、中央が高速道路などで分断された一方は、かつての工場地域で住民も少なくなっていました。10年前からの大規模な再開発により、デザイナーのビルも並びにぎわいのある街に生まれ変わりました。池や小さい林、更には野鳥の巣箱も設置されるなど、自然を取り入れる工夫により、ビーバーが戻ってきたりしているそうです。神戸の再開発でも、「都心に自然を呼び込もう」と、提言に盛り込みました。東芝のスマートシティでは、住民にタブレット端末を配布し、節電に取り組んでもらう実証実験も行われていました。公営住宅には移民の人も多く、フランス語が得意でない住民と日本の技術者の間で不思議に通じ合う交流があったとジェシカさんが嬉しそうに話してくれました。

マルセイユ港では、マイクロバスに乗って、港湾地区の再開発状況の説明を受けました。世界クラスの大きさのドックを大型客船用に再整備し、クルーズで寄港後に修理に入れる港湾としてのメリットを目指す一方、廃止したドックを活用した大規模でおしゃれなにぎわい施設など、目的を明確にした再開発が行われていました。乗船場、カフェやショップのエリア、駐車場が隣接して整備され、船を見ながら食事やお茶が飲めるスポットがたくさんありました。港には、大型客船だけでなく、中小のフェリーやクルーズ船がたくさん停泊しています。24時間でアフリカに着く港でもあり、また、美しい地中海を巡ることもできる港です。神戸にも、もっと港の可能性があるのではと再度考えさせられました。